

## ケニアにおける超音波気管支鏡導入と専門看護師・臨床工学士育成 3年計画の2年目

### 1. 案件目的：

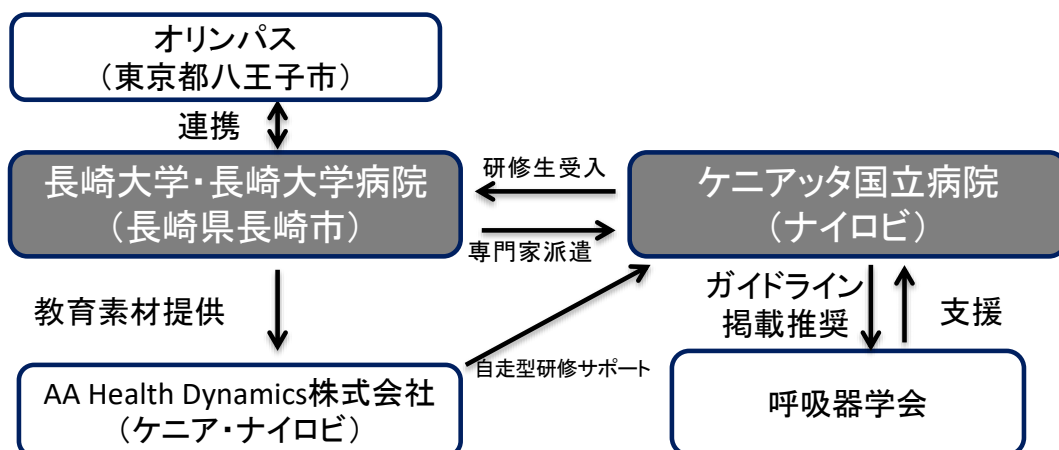
本事業は超音波気管支鏡検査（EBUS-TBNA、EBUS-GS）の導入と内視鏡看護・臨床工学士による機器メンテナンス技術を導入することで、気管支鏡診療の向上を通じた医療水準の改善を目的としている。

### 2. 案件の概要

長崎大学が中心となり、KNHの医師・看護師・医療工学技士を対象に、本邦研修およびケニア現地研修（研修者研修）を継続して実施する。令和7年度事業で整備した研修プログラム・研修素材（手技マニュアル、教育動画等）を活用し、KNHが主体となる自走型研修（年3回）の運用を行う。オリンパスが機材・技術支援を行い、AA Health Dynamicsが自走型研修における研修素材の支援を行う。

### 3. 案件の成果、着地点

EBUSおよび気管支鏡診療に関する自走型研修がKNHを中心に定着し、他医療機関への研修展開が可能となる。本事業で整備した研修プログラム・研修素材を基盤として、EBUS機器導入やガイドライン反映に向けた取組が進展する。



### <研修スケジュール予定>

- ・本邦研修(長崎大、オリンパス、亀田Hp)  
9月-10月 研修生受入(4名)(研修者研修)
- ・ケニア現地研修(ケニアツタ国立病院)  
12月 専門家派遣(5名)(研修者研修)
- ・自走型研修(ケニアツタ国立病院による研修)  
9月-12月 2回実施予定 専門家派遣(2名)